

令和7年度 事業計画評価シート

新潟大学附属長岡中学校

(本年度、重点的に取り組む事柄)

【義務教育】生徒の主体性を基盤にして、学力の向上、豊かな人間性、健やかな心身の育成に向けた教育活動の展開
【教育研究】地域のニーズに応える教育研究の推進と、文部科学省の研究開発指定を受けた「ものづくり科」によるイノベーション人材育成に向けたカリキュラム開発
【教員養成】学生の教職への希望を高めることを目指した教職の良さを感じることができる教育実習の実施

学校関係者評価	
A	とても適切である
B	概ね適切である
C	あまり適切でない
D	適切でない
E	判定できない

評価項目	具体的評価項目及び指標	学校関係者(学校運営協議会)評価	
		評価	意見・理由
【義務教育を実施する学校として】 生徒の主体性を基盤にして、学力の向上、豊かな人間性、健やかな心身の育成に向けた教育活動の展開 1. 主体的な学びを通じた学力の向上 2. 豊かな人間性の育成 3. 健やかな心身の育成	1. 生徒が主体的に学ぶ授業実践を通して、生徒の自己評価アンケートで「授業を通して成長を感じた」項目での肯定的評価をした生徒の割合が90%以上 2. 生徒会による自治的な活動を推進し、創造性ある活動を実践する。生徒アンケートで、「活動や体験を通して心の成長を感じた」の項目の肯定的評価の割合が90%以上 3. 有効な運動機会（体育授業、遠足等の行事など）を増やすことで、全国体力・運動能力調査で学年毎の経年変化による合計ポイントが昨年度を上回る。	B	2. 学校行事の平日実施は理解できる。どのような形でも、参加できない人が一定数いる中で、学校の様子をどのように知ってもらえるか考えてほしい。 3. 部活動がなくなった後、どのように変わっていったか動向を見守りたい。 3. 運動だけでなく、生活習慣がどのようになっているか、健康への意識はどのようになっているかも評価に含むべきではないか。
【教育研究を推進する学校として】 地域のニーズに応える教育研究の推進と、文部科学省の研究開発指定を受けた「ものづくり科」によるイノベーション人材育成に向けたカリキュラム開発 1. 「ものづくり科」2年次におけるカリキュラム開発の推進 2. 教育情勢や地域のニーズに応えた内容の研究協議会や講座の実施	1. 学校評価の職員アンケートでカリキュラム開発を計画通り推進することができた割合が80%以上 2. 教育研究協議会について効果的な広報を行うことにより、前年度を上回る参加者数の獲得。また、教育研究協議会をはじめ公開授業や協議会、講座の参加者満足度が85%以上	B	1. 2. 研究協議会の充実や地域教育事務所との連携は確立されているように感じる。教育実習生からも学びが深いとの評価がある点は高く評価できる。一方で、ものづくり科については、研究成果を実践の質向上へと還元し、生徒の主体性や実感につながる授業設計としては、多くの企業人との触れあいの機会、意見交換の機会など幅広いものづくり科の可能性を感じてもらうことが必要である。
【教員養成を行う学校として】 学生の教職への希望を高めることを目指した教職の良さを感じることができる教育実習の実施 1. 実習生への実践につながる指導 2. ICTを活用した実習プログラムの実施	1. 事前指導により実習生の不安を軽減し、成功体験により自己肯定感を高める。教育実習事後アンケートで、教職への意欲の高まりが見られる学生が80%以上 2. 年間を通じた教育実習において、ICT機器を活用した授業実践を行った実習生の割合が80%以上	A	・実習生の成長の高まりや満足度の高さから、申し分ない内容であると感じる。 ・僻地・複式学校への訪問は、多様な教育環境への適応力を養う実践の機会として高く評価できる。教科指導だけでなく、学級経営や地域連携の視点を体得でき、理論と現場を結ぶ教員養成として意義ある取組なので、さらに実施の幅を広くしてほしい。